



平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営統括室長 (氏名) 飯田 均 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 平成25年2月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	39,163	8.1	923	435.7	1,087	350.7	625	—
24年5月期第2四半期	36,223	△2.4	172	△79.1	241	△77.5	△157	—

(注) 包括利益 25年5月期第2四半期 866百万円(—%) 24年5月期第2四半期 △556百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	8.28	—
24年5月期第2四半期	△2.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第2四半期	75,884	29,714	35.3
24年5月期	76,663	29,049	34.2

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 26,772百万円 24年5月期 26,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年5月期	—	2.50	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	7.5	2,000	94.0	2,350	85.7	1,500	139.5	19.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年5月期2Q	76,821,626株	24年5月期	76,821,626株
25年5月期2Q	1,275,947株	24年5月期	1,275,413株
25年5月期2Q	75,545,906株	24年5月期2Q	75,548,843株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 1 1
(5) セグメント情報等	P. 1 1
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 1 1
(7) 重要な後発事象	P. 1 1

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や政府の政策効果によって緩やかな回復が続いたものの、欧州債務問題による世界経済の減速や日中間の経済の冷え込みによる企業業績の下振れ等、景気の停滞感が強まりました。

このようななか、当期よりスタートした中期3ヵ年経営計画“Global Evolution 2015”の基本方針のもと、グループ全社が一丸となって諸施策に取り組んだ結果、当第2四半期における連結業績は、売上高391億63百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益9億23百万円（同435.7%増）、経常利益10億87百万円（同350.7%増）、四半期純利益6億25百万円（前年同期 四半期純損失1億57百万円）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、大型物件の受注等があり、売上高は前年同期を上回りました。特に発売2年目を迎えた循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」は高い評価を得ており、順調に売上高を伸ばしております。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、緩やかに物価が下落するなか個人消費が伸び悩んだこと、また、夏から秋にかけて残暑が続いたことも影響したため、売上高は前年同期を下回りました。カーテンでは、主力の「U-Life（ユーライフ）Vol.6」に加え、「ディズニーシリーズ」、「デザインライフ」が好調に売上高を伸ばした結果、売上高は前年同期を上回りました。壁紙では、「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークII」がともに厳しい状況となり、前年同期を下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高164億90百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益1億46百万円（前年同期 営業損失3百万円）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、カーペット事業、ファブリック事業ともにグローバル化の効果が大きく、増収増益となりました。カーペット事業では、国内の業績は前半は好調に推移したものの、後半はエコカー補助金の終了や中国向けの輸出が減少したことが影響し、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。一方、海外（米国、タイ、中国）では、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。ファブリック事業においても、国内はカーペット事業と同様の傾向にあり、売上高は前年同期を下回りましたが、原価改善活動等が奏功し、営業利益は前年同期を上回りました。海外（米国、タイ、中国）においても、日系自動車メーカーの生産増加を受け、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

車両関連では、鉄道・バス共に新車物件は厳しい状況が続きましたが、大手私鉄関係を中心としたリニューアル物件や、オレフィンフィルム等の新規商材の拡販によって、売上高は前年同期を上回りました。また、営業利益につきましても、営業活動の効率化により、前年同期を上回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高200億12百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益12億5百万円（同114.6%増）となりました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは、引き続き好調を維持し売上高は増加しました。タイルカーペットのOEM販売は、輸出向けは売上高を伸ばしましたが、国内向けは低調であったことから売上高は微減しました。消臭関連では、空気清浄機や冷蔵庫用等の家電メーカー向け消臭フィルターが順調に売上高を伸ばし、一般家庭向け置き型消臭商品「香りでごまかさない 本当の消臭」も健闘しました。土木関連資材やペットボトルリサイクル繊維「スミトロン®」の販売は低迷しました。

以上の結果、機能資材事業の売上高は26億11百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益1億98百万円（同4.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**①資産、負債および純資産の状況**

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ7億79百万円減少し758億84百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ14億44百万円減少し461億69百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6億65百万円増加し297億14百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ19億40百万円減少し、49億51百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少等により、1億47百万円の支出（前年同期19億25百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、9億79百万円の支出（前年同期10億67百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出等により、7億76百万円の支出（前年同期78百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

欧州債務問題の長期化や新興国の成長鈍化、日中間の経済の冷え込み等、景気減速につながる諸問題が散見され、見通しも厳しさを増しております。当社グループは、中国子会社の業績下振れ懸念はあるものの、米国STAやタイTCHS(T. C. H. Suminoe Co., Ltd.)といった海外子会社は底堅く推移することを見込んでおります。以上のような状況を踏まえ、平成25年5月期見通しは、平成24年7月13日に発表した通期業績予想（売上高810億円、営業利益20億円、経常利益23億50百万円、当期利益15億円）のままいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,112	5,171
受取手形及び売掛金	20,442	21,359
有価証券	317	274
商品及び製品	7,682	8,012
仕掛品	1,769	1,505
原材料及び貯蔵品	1,794	2,085
その他	4,242	3,700
貸倒引当金	△33	△26
流動資産合計	43,327	42,082
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,332	18,323
その他(純額)	8,079	8,182
有形固定資産合計	26,411	26,505
無形固定資産	361	388
投資その他の資産		
その他	6,738	7,080
貸倒引当金	△175	△173
投資その他の資産合計	6,563	6,907
固定資産合計	33,335	33,801
資産合計	76,663	75,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,901	15,679
短期借入金	11,086	10,828
未払法人税等	253	275
その他	3,211	3,581
流動負債合計	31,452	30,363
固定負債		
長期借入金	5,347	4,757
退職給付引当金	3,648	3,689
役員退職慰労引当金	309	296
負ののれん	221	177
その他	6,633	6,883
固定負債合計	16,161	15,805
負債合計	47,614	46,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,146	7,582
自己株式	△330	△330
株主資本合計	19,022	19,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22	237
繰延ヘッジ損益	△20	△1
土地再評価差額金	7,867	7,867
為替換算調整勘定	△615	△789
その他の包括利益累計額合計	7,208	7,313
少数株主持分	2,817	2,942
純資産合計	29,049	29,714
負債純資産合計	76,663	75,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	36,223	39,163
売上原価	28,525	30,630
売上総利益	7,698	8,532
販売費及び一般管理費	7,525	7,608
営業利益	172	923
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	66	61
負ののれん償却額	44	44
不動産賃貸料	119	116
その他	116	142
営業外収益合計	357	375
営業外費用		
支払利息	121	130
持分法による投資損失	72	24
不動産賃貸費用	27	24
その他	66	32
営業外費用合計	288	211
経常利益	241	1,087
特別利益		
固定資産売却益	10	2
災害に伴う受取保険金	—	378
その他	—	1
特別利益合計	10	381
特別損失		
固定資産除売却損	12	6
投資有価証券評価損	187	—
災害による損失	39	303
特別損失合計	239	309
税金等調整前四半期純利益	11	1,159
法人税、住民税及び事業税	80	284
法人税等調整額	92	79
法人税等合計	173	363
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△161	796
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	170
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△157	625

四半期連結包括利益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 6 月 1 日 至 平成23年11月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 6 月 1 日 至 平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△161	796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	259
繰延ヘッジ損益	11	18
土地再評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	△320	△206
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	△394	70
四半期包括利益	△556	866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△475	729
少数株主に係る四半期包括利益	△80	137

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11	1,159
減価償却費	612	573
災害に伴う受取保険金	—	△378
災害損失	39	303
負ののれん償却額	△44	△44
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3	43
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△36	△13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△7
受取利息及び受取配当金	△76	△71
支払利息	121	130
持分法による投資損益 (△は益)	72	24
固定資産除売却損益 (△は益)	2	3
投資有価証券評価損益 (△は益)	187	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,777	△1,026
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△884	△467
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,470	△1,128
その他	431	790
小計	△1,867	△108
利息及び配当金の受取額	73	70
利息の支払額	△126	△131
保険金の受取額	—	552
災害損失の支払額	△30	△281
法人税等の支払額	△114	△262
法人税等の還付額	139	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,925	△147

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△220	△220
定期預金の払戻による収入	420	220
有価証券の取得による支出	△11,622	△9,000
有価証券の売却及び償還による収入	11,542	9,045
有形固定資産の取得による支出	△1,137	△839
有形固定資産の売却による収入	91	4
投資有価証券の取得による支出	△61	△127
その他	△79	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,067	△979
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△242	214
長期借入れによる収入	1,200	—
長期借入金の返済による支出	△1,142	△878
リース債務の返済による支出	△294	△317
セール・アンド・リースバックによる収入	804	431
配当金の支払額	△188	△188
その他	△57	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	78	△776
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	△37
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,978	△1,940
現金及び現金同等物の期首残高	7,827	6,892
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,849	4,951

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,344	17,168	2,651	36,164	58	36,223	—	36,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	237	13	17	268	130	398	△398	—
計	16,581	17,182	2,668	36,432	189	36,621	△398	36,223
セグメント利益 又は損失 (△)	△3	561	189	747	20	767	△594	172

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△594百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△596百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,490	20,012	2,611	39,115	47	39,163	—	39,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	230	3	17	251	140	391	△391	—
計	16,721	20,016	2,629	39,367	188	39,555	△391	39,163
セグメント利益	146	1,205	198	1,549	17	1,567	△643	923

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
 2 セグメント利益の調整額△643百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△655百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。